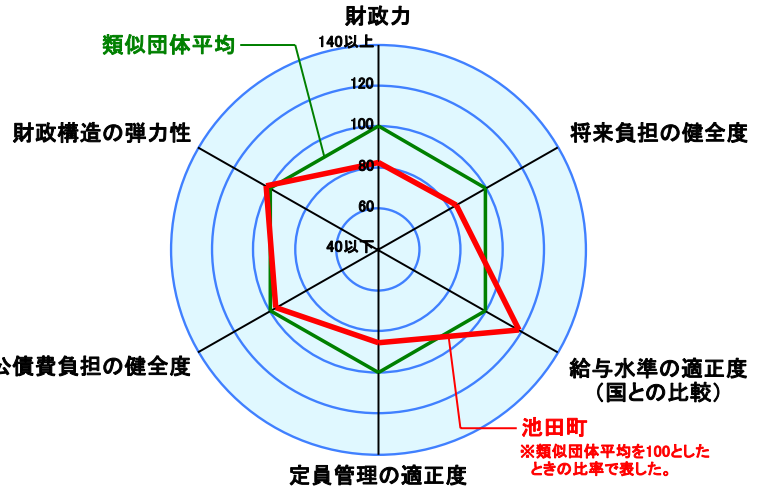
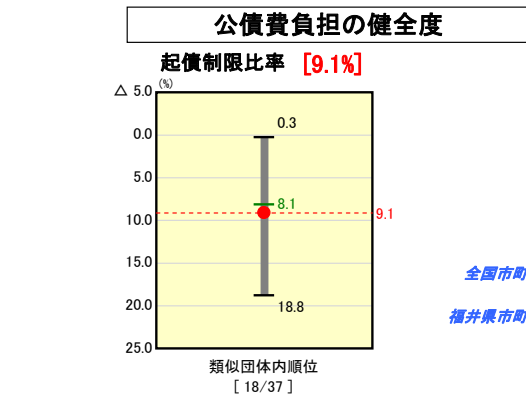
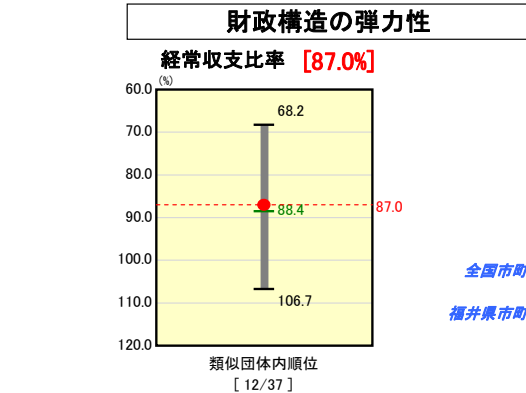
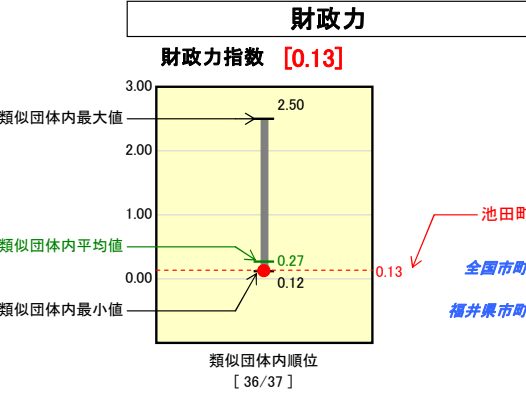


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 池田町

人口	3,678 人(H17.3.31現在)
面積	194.72 km ²
歳入総額	4,186,044 千円
歳出総額	3,924,455 千円
実質収支	221,952 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数**
人口の減少や全国平均を大きく上回る高齢化率(平成17年4月1日現在で36.97%)、基幹産業であった農林業の衰退等により、自主財源比率は6.8%と財政基礎は脆弱であり、類似団体平均を大きく下回っている。今後は、平成17年3月に策定された第3次行政改革大綱に基づき、事務事業の効率化を進めながら、「風格ある美しいほっとランド 池田」をキャッチフレーズに個性豊かなまちづくりを展開しつつ、財政の健全化を目指す。
- 経常収支比率**
平成16年度当初予算編成時から取り組んだ「事務事業見直しプロジェクト」において、約200の事務事業の再点検を行い、事業の廃止・縮減に努めてきたことにより、87.0%とかなり下回っている。しかしながら、前年度比2.4%増となっている現状から、第3次行政改革大綱に沿った経常経費の削減に努める。
- 起債制限比率**
普通建設事業の抑制に伴い、年々起債償還額が減少してきているが、類似団体平均を1.0%上回っている。今後も、事業の取捨選択を図り、起債の新規発行の抑制に努める。
- 人口1,000人当たり地方債現在高**
前年度から31,848円の減少となっているが、類似団体平均の中でも高い結果となっている。主な要因としては、平成5年度から平成7年度にかけて実施した能楽の里文化交流会館建設事業(総事業費17.6億円、うち起債14.7億円)等であるが、以後は事業の必要性等を精査しながら、起債の抑制を図る。
- ラスパイレス指数**
類似団体平均を大きく下回っている。今後、勤務評定の実施・成績主義に則した昇給制度の運用を行い、各種手当の見直し等地域住民の理解と納得が得られるよう給与の適正化に努める。
- 人口1,000人当たり職員数**
定員適正化計画(平成12年～16年)において事務の統合(保育所統合等)・退職者不補充により21人の減(△19%)となったが、依然類似団体平均を上回っている。高齢化率の高い本町では、福祉の充実を図りながら今後5年間で各部門の統合(管理・福祉・教育部門)及び業務の民間委託等により10人の減(△10%)を目標とする。

